

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年8月1日 ~ 2024 年7月31日)

平成26年 四万十市中村赤鉄橋 塗装工事 (株)タカラ塗装



株式会社タカラ塗装



作成日： 2024年10月21日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
認証・登録の対象組織・活動	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社タカラ塗装は、事業活動による環境への影響を考慮し、地域の環境保全に向けて、全従業員で自主的・積極的に環境経営に取り組み、継続的に環境負荷の削減に努め、自然環境との強制を計れるよう活動します。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制等を遵守します。
- 2 . 建設機械、車両等の燃料使用量の削減による二酸化炭素の排出量を削減します。
- 3 . 電力使用量の削減による二酸化炭素の排出量を削減します。
- 4 . 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルを促進します。
- 5 . 水使用量を削減します。
- 6 . グリーン購入を促進します。
- 7 . 環境に配慮した塗装工事の施工を実施します。
- 8 . 化学物質使用量の削減に努めます。
- 9 . 社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- 10 . 環境経営方針を全従業員へ周知します。
- 11 . 環境経営レポートを作成し公表します。

制定日：2017年6月1日

改定日：2019年8月1日

代表取締役 **石本 憲史郎**

□組織の概要

更新日：2024年10月21日

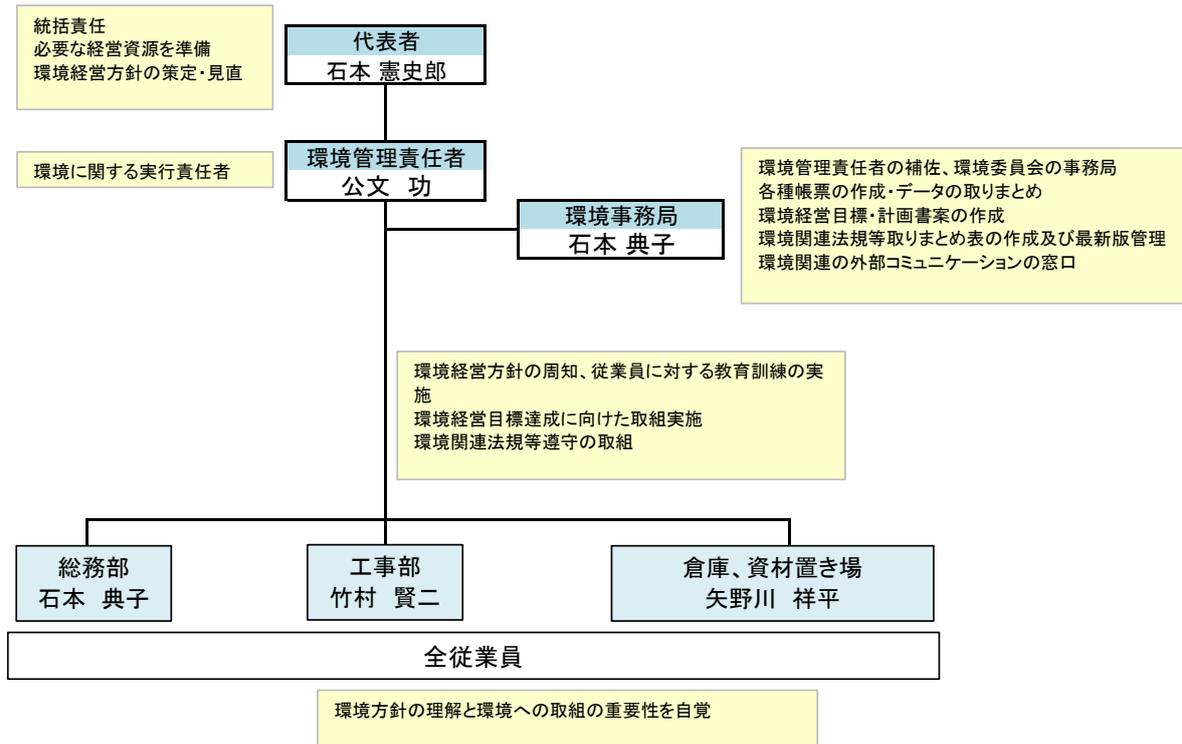
- (1) 名称及び代表者名
株式会社タカラ塗装
代表取締役 石本 憲史郎
- (2) 所在地
本 社 高知県高知市南川添4番5号
倉 庫 高知県高知市南川添4番5号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 工事部係長 公文 功 TEL：088-884-0045
担当者 総務部 石本 典子 TEL-088-884-0045
- (4) 事業内容
建設業(塗装工事業)
主に橋梁塗装・鉄塔塗装・タンク塗装・プラント設備塗装・建築塗装・ダムゲート塗装を行っています。
- 建設業許可 許可番号 高知県知事 許可 (般-1) 第1418号
許可年月日 令和 2年 3月 9日
有効年月日 令和 7年 3月 8日
建設業の種類 塗装工事業
- (5) 事業の規模
設立年月日 昭和46年12月20日設立
資本金 10,000千円
- | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|
| 売上高 百万円 | 230 | 341 | 327 |
| 従業員 名 | 12 | 12 | 12 |
| 事業所敷地面積 m ² | 572.2 | 572.2 | 572.2 |
| 本社・倉庫床面積 m ² | 196.0 | 196.0 | 196.0 |
- (6) 事業年度 8月1日～7月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社タカラ塗装
対象事業所： 全社・全組織・全従業員
活動： 建設業(塗装工事業)

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年10月11日



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	37,744	55,158	31,151
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	391	161	120
産業廃棄物排出量	k g	99,806	18,293	49,684
総排水量	m ³	370	71	74

※二酸化炭素排出係数 0.527 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

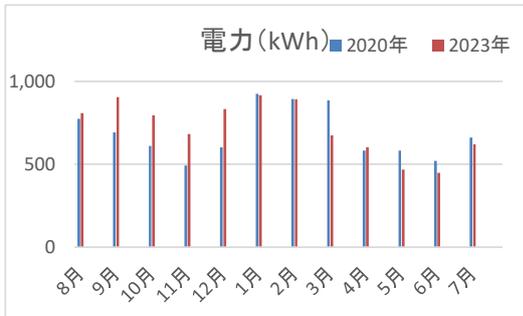
項目	年度	2020年	2023年		評価	2024年	2025年	
		(基準値)	上段: (目標)	通期 下段: 4月末まで (実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,383	4,252	4,557	×	4,208	4,164	
	kg-CO ₂	3,454	3,350	3,747	×			
	基準年度比		97%	104%		96%	95%	
原単位	kg-CO ₂ /千円	0.015	0.014	0.012	○	0.014	0.014	
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂							
	基準年度比							
燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	33,361	32,360	26,594	○	32,027	31,693	
	kg-CO ₂	27,657	27,657	19,301	○			
	基準年度比		97%	80%		96%	95%	
上記二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	37,744	36,612	31,151		36,234	35,857	
一般廃棄物の削減	kg	129	125	120	○	124	123	
	kg	96	93	91	○			
	基準年度比		97%	93%		96%	95%	
産業廃棄物の削減	kg	21,562	20,915	49,684	×	20,700	20,484	
	kg	14,898	14,451	46,896	×			
	基準年度比		0.97	2.30		0.96	0.95	
建設副産物の再資源化率の向上	%	61%	64%	36%	×	65%	66%	
水道水の削減	m ³	71	69	74	×	68	67	
	m ³	50	49	48	○			
	基準年度比		97%	104%		96%	95%	
化学物質使用量削減(あるいは適正管理)	kg	1,504	1,459	1,629	×	1,444	1,429	
	kg	1,170	1,135	1,378	×			
	基準年度比		97%	108%		96%	95%	
環境に配慮した工事の推進		行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	月ごとの電力使用量が基準年を超えているのは現場事務所の設置期間と重なっている。夏場に猛暑日が多かったため現場事務所・現場休憩所でのエアコンの使用頻度が増加、また本社事務所でもエアコンの使用時間は増加傾向あったと考えられエアコンの使用が電力使用量増加の大きな要因となっている。今後もエアコンの使用は不可欠なので、設定温度・不在時には電源を切るなど節電に務める。
原単位目標	○	
・エアコンの設定温度(冷房28℃ 暖房20℃)とする	○	
・エアコンを定期的に点検する	○	
・電子機器は省エネ設定をする	○	
・不要な照明は消す	△	



取組紹介欄

エアコンの温度管理

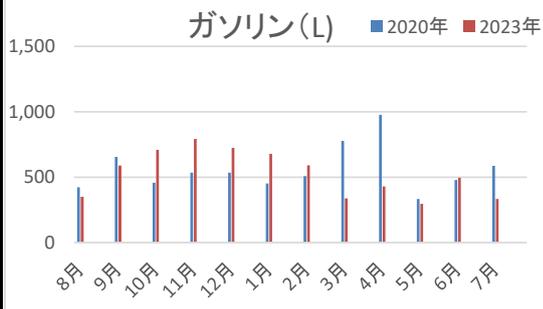


照明のLED化を推進



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2020年	774	692	611	492	602	925	894	886	582	582	520	661
2023年	808	906	796	683	834	916	892	674	602	468	448	620

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標が達成できたのは軽油の使用量が減少した為である。現場での大型発電機・コンプレッサの使用期間が短かったことに加え、現場への通勤で使用するトラックの使用頻度が少なかったことが軽油使用量減少の要因である。今後も現場への通勤は軽バンとトラックを効率的に使用していく。
・アイドリングストップ、空吹かし禁止	○	
・車両の安全運転を心がけ、急発進・急ブレーキしない	○	
・不要な荷物は積まない	○	
・車両の適切なメンテナンスを実施する	△	

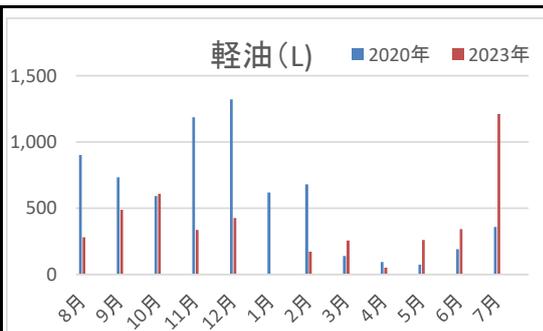


取組紹介欄

エコドライブ10'のすすめ

1. ふんわりアクセル「eスタート」(ゆっくり発進)
2. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
3. 減速時は早めにアクセルを離そう(ゆっくり停止)
4. エアコンの使用は適切に
5. ムダなアイドリングはやめよう
6. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
7. タイヤの空気圧から始める点検・整備
8. 不要な荷物はおろそう
9. 走行の妨げとなる駐車はやめよう
10. 自分の燃費を把握しよう

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2020年	422	656	457	535	534	451	509	778	977	332	478	587
2023年	349	588	709	793	724	679	591	337	430	295	495	334



取組紹介欄

コンプレッサー



ブラスト状況

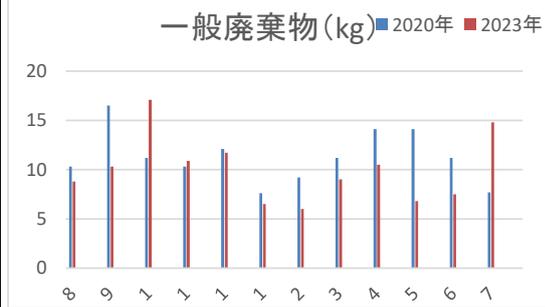


ブラスト完了



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2020年	903	734	592	1,186	1,322	619	680	139	95	75	190	358
2023年	281	488	610	337	426	0	173	257	51	261	343	1,212

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今後もコピー用紙の裏面の利用、電子化によるコピー用紙の使用量削減に取り組んでいく。
・ミスプリントをなくす	△	
・コピー用紙の裏紙を使用する	○	
・文書の電子化を推進し用紙を削減する	○	
・ごみを分別し、再生・再利用する	○	



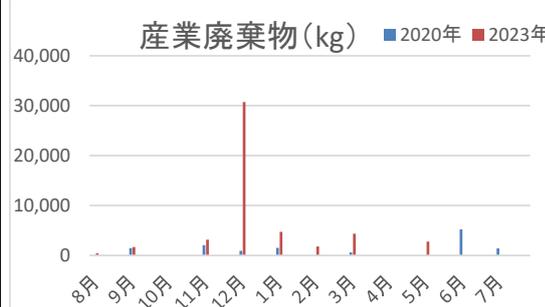
取組紹介欄

一般廃棄物の集積



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2020年	10	17	11	10	12	8	9	11	14	14	11	8
2023年	9	10	17	11	12	7	6	9	11	7	8	15

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	プラスト処理の施工面積によって産業廃棄物の発生量が大きく左右されるが、今後も再利用できるものの分別など取り組んでいく。
・マニフェスト票による管理を徹底する	○	
・使用出来るものと廃棄物を分別する	○	



取組紹介欄

産業廃棄物の集積



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2020年	0	1,488	0	2,094	929	1,523	0	576	0	0	5,237	1,427
2023年	452	1,672	0	3,133	30,712	4,758	1,792	4,377	0	2,788	0	0

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	廃プラストは埋立処分となる為、廃プラストの発生量が多いと再資源化率が大幅に下がる状況である。ほかに、シート類も埋立処分となるため再利用できるものは分別し再利用するように努めている。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	△	

取組紹介欄

産業廃棄物の分別



水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	3月、7月と使用量が増加している。現場で水洗い作業に使用する水を本社事務所からタンクで運搬の際に給水した為である。水道水削減のため水洗い作業を効率的に行うよう努める。
・水道栓の閉め忘れ防止の徹底		○	
・節水札を掛けるなど、従業員への周知		○	
・洗車時の使用水量は必要最小限にとど		△	

<p>水道水(m³)</p>						<p>取組紹介欄</p> <p>蛇口部の表示</p>						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2020年	0	13	0	12	0	14	0	11	0	10	0	11
2023年	0	11	0	11	0	9	0	17	0	11	0	15

化学物質使用量削減(あるいは適正管理)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	化学物質使用量の目標は達成出来なかったが、在庫管理による適正な購入量や塗料、シンナーの保管など今後も適正に進めていく。
・有害性物質の表示の徹底		○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制		○	
・発注量の適正化		○	
・在庫管理による不良在庫の削減		○	

取組紹介欄	塗料の保管状況	

環境に配慮した工事の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・低騒音・排出ガス対策型機械を使用する		○	鉄塔工事では事前に現場調査を行い工事車両の駐車場所を選定し地元住民の車両通行に支障のないよう配慮している。
・騒音・振動防止、汚濁防止に努める		○	

取組紹介欄	騒音対策として防音シートを設置 低騒音・排ガス対策型機械の使用	

課題を解決しチャンスを活かす取組		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承		△	6月は社内旅行を行い社員間の親睦を深めると共に見聞を広めることができた。
・働き方改革		○	

取組紹介欄	<p>長時間労働の是正</p> <p>罰則付きの時間外労働規制の施行の猶予期間（5年）を待たず、長時間労働是正、週休2日の確保を図る。特に週休2日制の導入にあたっては、技能者の多数が日給月給であることに留意して取組を進める。</p>
-------	---

グリーン購入への取組	
取組紹介欄	<p>エコ商品の優先購入</p>

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、ジーゼル発電機
振動規制法	空気圧縮機、ジーゼル発電機
フロン排出抑制法	業務用空調機
化学物質排出把握管理促進法	PRTR制度
労働安全衛生法	SDS義務のリスク評価、作業主任者の選任
消防法(危険物)	危険物の保管
高知県環境基本条例	公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理
高知市環境基本条例	公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理
グリーン購入法	環境物品等の選択
悪臭防止法	特定悪臭物質の排出基準

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年1月24日	■実施場所 本社
■参加者：	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 初期消火時に使用する消火器の設置場所表示及び取扱いについて再確認した。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2024年4月19日	■実施場所 本社
■参加者：	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価： 吸着マットの有効性と吸着マットを準備する事の重要性を再確認した。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 化学物質流出事故の発生	
■実施日： 2024年3月28日	■実施場所 本社
■参加者：	■実施内容： ・化学物質出事事故対応、通報訓練
■評価： 塗料攪拌場所でのシート設置及び、吸着マットを準備する事の重要性を再確認した。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月17日

電力の使用量はあと少しのところまで目標を達成出来ていないが、夏場に猛暑日が多くエアコンの使用によるものと考えられる。しかし現場での作業環境を整えるためには必要であり使用時間など適切に管理を行うこと。化学物質では在庫品を有効的使用するなど適正な管理が行われている。循環式プラストを使用し、産業廃棄物の発生量、再資源化率、また燃料使用量の目標の向け取り組んでおり、燃料使用量では目標を達成出来ている。この取り組みにとどまらず目標未達成事項の課題解決にむけて今後も取り組んでいく。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

■橋梁塗装工事の現場で付近の建物の清掃活動を行い、地元市役所の広報に載りました

Hot News Now  まちの話題

キ 天然色劇場の清掃
レイにしてくれてありがとうございます!

1月22日(月)、高知市の(株)タカラ塗装が、地域貢献活動の一環として吉川町の天然色劇場の外壁清掃を行いました。同社は、現在行っている物部川大橋の塗装工事にあわせて、令和元年度に引き続き2回目のボランティア清掃活動となりました。

当日は高所作業車や高圧洗浄機を使い、3人の作業員の方が外壁にこびりついた汚れを丁寧に洗浄してくださいました。明るく蘇った天然色劇場。気持ちよく利用できるようになりましたので、ぜひご活用ください。



▲見えないところで、さまざまな人たちに支えられています

Topics